

住友化学プロフィール

大分工場概要

操業開始 昭和14年(1939年)12月
 総面積 約77万㎡
 従業員数 約440名
 生産品目 農薬、医薬中間体、
 レゾルシン、高分子添加剤等

本社(東京)

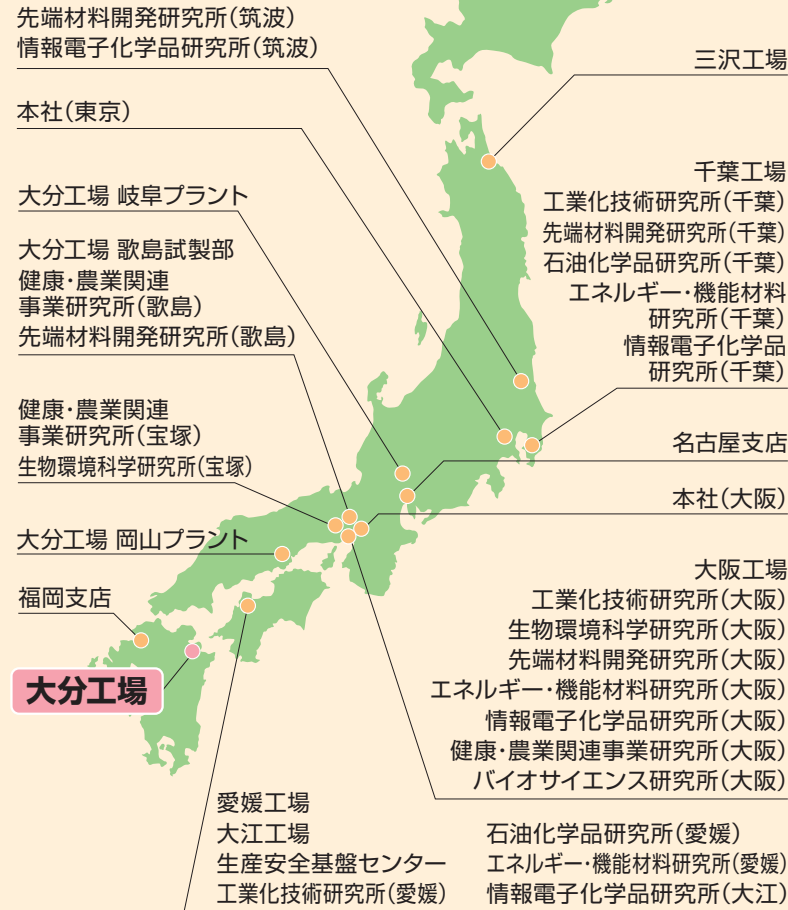
〒104-8260
 東京都中央区新川2丁目27番1号
 東京住友ツインビル(東館)
 電話:03-5543-5500
 Fax:03-5543-5901

本社(大阪)

〒541-8550
 大阪市中央区北浜4丁目5番33号
 住友ビル
 電話:06-6220-3211
 Fax:06-6220-3345

主な海外事業拠点

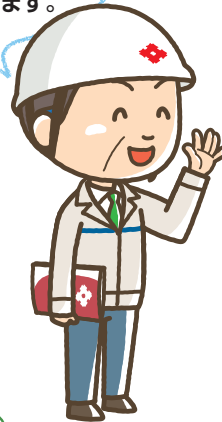
【北米】ニューヨーク、ボストン、シアトル、フェニックス
 【中南米】サンパウロ
 【西欧】ロンドン、ケンブリッジ、ブリュッセル、ミラノ、バルセロナ
 【アフリカ】プレトリア、アルーシャ
 【東アジア】ソウル、北京、大連、上海、香港、台北、高雄、台南
 【東南アジア】シンガポール、クアラルンプール、バンコク、ホーチミン、マニラ
 【南アジア】ムンバイ
 【西アジア】ラービグ、ジェッダ
 【オセアニア】シドニー



ご意見・お問い合わせ、また工場見学のご希望などがございましたら下記までご連絡ください。

住友化学株式会社大分工場 総務部(総務)
 電話 097-523-1111 FAX 097-523-1121

大分工場の、
 環境・安全への取り組みを
 見ていただけましたか?
 これからも、大分工場を
 よろしく願います。



大分工場は、
 地域・社会・環境のために、
 さまざまな活動で
 貢献しているんですね!
 今日はありがとうございました。



石油系の溶剤の代わりに植物油を使用した、植物油インキを使用しています。揮発性有機化合物(VOC)の発生を抑え、石油資源の保護に貢献します。



環境安全 レポート 2018

大分工場の
 レスポンシブル・ケア活動



ごあいさつ



みなさん、こんにちは。工場長の長田です。

日ごろから私たち住友化学(株)大分工場に温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

大分工場は1939年12月にここ鶴崎の地で操業を開始し、これまで地域の皆様とともに発展してまいりました。おかげさまで今年で79年を迎えます。これまでも新しい製品の開発や製造設備の導入を続けてまいりましたが、ここ数年で工場の姿もかなり変わりました。従業員の世代交代も進み、若くて活気あふれる工場になっています。

私たちは「安全をすべてに優先させる」という基本方針のもと、無事故・無災害による安全安定操業と地域や環境に配慮した工場づくりに取り組んでいます。そして、工場でつくった農薬や医薬などの製品を通じて、世界の食料増産・健康推進・生活の質の向上に貢献していきたいと考えています。

これらの実現のため、製品の開発・製造・販売・使用・廃棄にいたるライフサイクル全体を通して、安全・環境・衛生・品質を確保する「レスポンシブル・ケア(RC)活動」に取り組んでいます。長年の事業で培ってきた豊富な知見と先端技術を駆使しながら、環境汚染の予防、環境負荷の低減、地球温暖化防止に努めてまいります。また地球規模の課題である「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向け、仕事を通じた貢献を考える取り組みも始まっています。

このレポートでは、私たちのこうした取り組みの一端をご紹介します。是非ご覧いただき、今後の工場運営改善のためにも、皆様の率直なご意見・ご要望をお聞かせいただければと思います。

2018年9月
住友化学株式会社
執行役員 大分工場長 長田 伸一郎

大分工場では、どんなものを作っているの？

みなさまの豊かな食生活を支えるため、主に農薬など、暮らしに役立つ製品を作っています。

だからこんなにみずみずしい、立派な野菜に育つんだね！



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

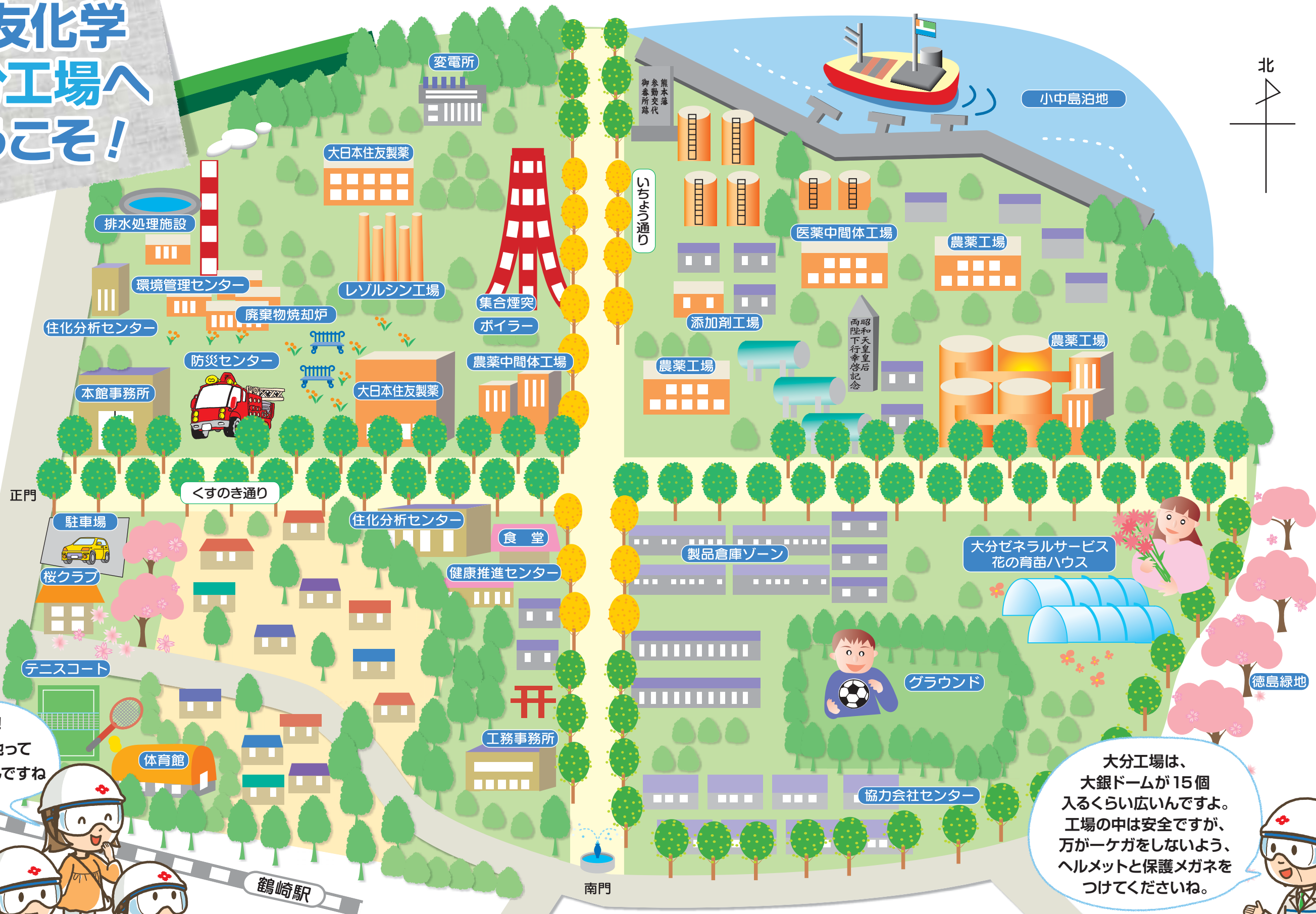


2015年9月25日-27日、ニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。本アジェンダは、人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。この目標が、ミレニアム開発目標(MDGs)の後継であり、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。住友化学グループも、これらの持続可能な開発のための諸目標の達成に向けた取り組みに貢献していきます。

Contents 目次

住友化学大分工場へようこそ	4	労働安全衛生	20
レスポンシブル・ケア活動	6	保安防災	23
環境保全	8	地域とのコミュニケーション	25
化学品安全・品質保証	19		

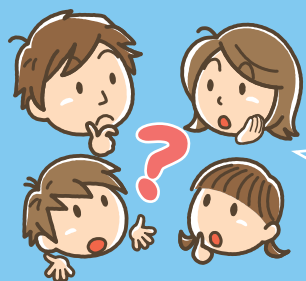
住友化学 大分工場へ ようこそ!



わあ～！
工場の敷地って
とても広いんですね



大分工場は、
大銀ドームが15個
入るくらい広いんですよ。
工場の中は安全ですが、
万が一ケガをしないよう、
ヘルメットと保護メガネを
つけてくださいね。



「レスポンシブル・ケア」って、 どんな活動？

製品を新しく作り出すところから、お客様に使用され、最後に廃棄されるまで、地球環境や私たちの健康・安全を守るための活動です。

レスポンシブル・ケア活動

私たちの豊かな暮らしは、多くの化学製品によって支えられています。しかしこうした化学製品は、その製造や使用などにあたって、あやまった取り扱いをすると、時には私たちの健康に害を与えたり、事故や環境問題をひき起こすおそれもあります。特に今日では、地球環境問題や技術の進歩などによって発生する新たな問題に対して環境・安全・健康を守るために、化学物質を取り扱う企業が自主的に責任ある行動をとることが求められています。

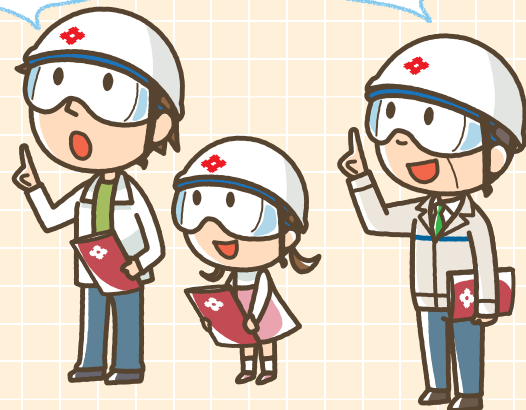
そこで、世界の化学産業界は、国際的に連携し、開発から製造、流通、使用、そして廃棄にいたるまで、環境・安全面の対策を実施する活動を展開しており、これをレスポンシブル・ケア(RC)活動と呼んでいます。

私たち住友化学も、「安全、環境、品質に関する基本方針」のもとで、RC活動を進めています。そして大分工場においても組織をあげて、無事故・無災害や、環境への影響の低減に取り組んでおり、今後も、地域社会やお取引先のみなさまに信頼していただけるように、また従業員が安心して働けるように全力を尽くしてまいります。



企業には責任ある行動が求められているんだなあ。

製品づくりにおいて、とても大切なことなんですよ。

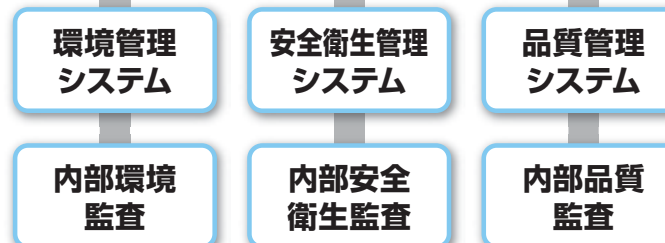


レスポンシブル・ケアの 主な活動内容

レスポンシブル・ケアは、大きく「環境保全」「化学品安全」「保安防災」「労働安全衛生」の4分野に分類されます。住友化学は、この活動の中に「品質保証」も加えて活動しています。



大分工場 レスポンシブル・ケア委員会 品質保証委員会





環境を守るために、 どんなことをしているの？

地域のみなさんが大切にしている環境を守るために
さまざまなルールを定め、これに沿って取り組みを進めています。

大分工場は、環境を守るために定められた
国際的な基準に沿って運営しています。

基本方針

私たちは『安全をすべてに優先させる』の基本理念のもと、『安全安定操業』『お客様重視』『地域社会との共存共栄』の基本方針に則り、事業活動において環境保護に努め、人類社会の発展に貢献します。

環境方針

- 1 環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、環境負荷の削減や省エネルギー、地球温暖化防止など、環境保護に努めます。
- 2 環境諸法令・条例および協定を順守すると共に、レスポンシブル・ケアの精神に則りコンプライアンスを徹底します。
- 3 事業活動全般の環境への影響を評価し、事業環境の変化に合わせ、組織と環境に有益な成果を達成します。
- 4 社内外のコミュニケーションを通じてステークホルダーのニーズの確認および環境情報の開示に努めます。
- 5 関係各社と共に、環境への諸活動について理解を深め、地域社会との共存共栄を達成し、持続可能な社会の実現に向けて貢献します。

この環境方針は、社内外に公表します。

住友化学株式会社
大分工場長 長田伸一郎
大日本住友製薬株式会社
大分工場長 嘉悦 厚

この方針に沿って、
運営しています。
写真は、正門から見た
「くすのき通り」です。



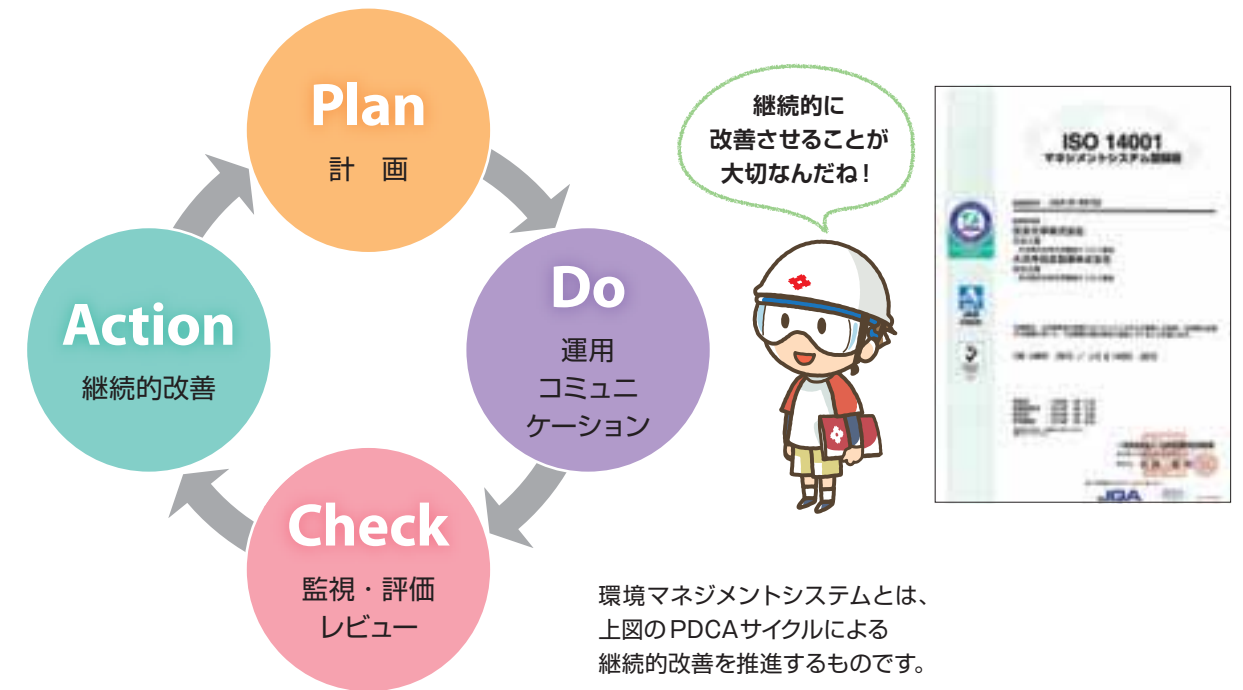
(注) 同じ敷地にある大日本住友製薬は、住友化学と環境方針を共有し、一体となって環境保全に取り組んでいます。

ISO14001

大分工場では1998年3月に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を取得し、現在まで運用、認証継続して規格が要求するマネジメントシステムに適合した運営を行ってきました。

2018年3月に新規格 (ISO14001 : 2015) に移行しました。

新しい規格に基づき、変化する環境・ニーズに確実に対応を行いながら、私たちの事業活動全般に対して環境への影響を評価し、更なる環境負荷低減、継続的改善に取り組んでいます。



環境負荷の低減

- 大気汚染物質の低減
- 排水負荷削減
- 臭気の低減
- 廃棄物の削減等

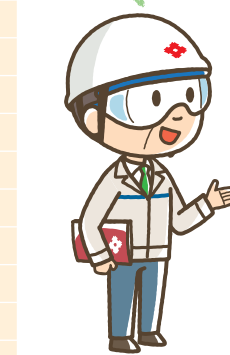
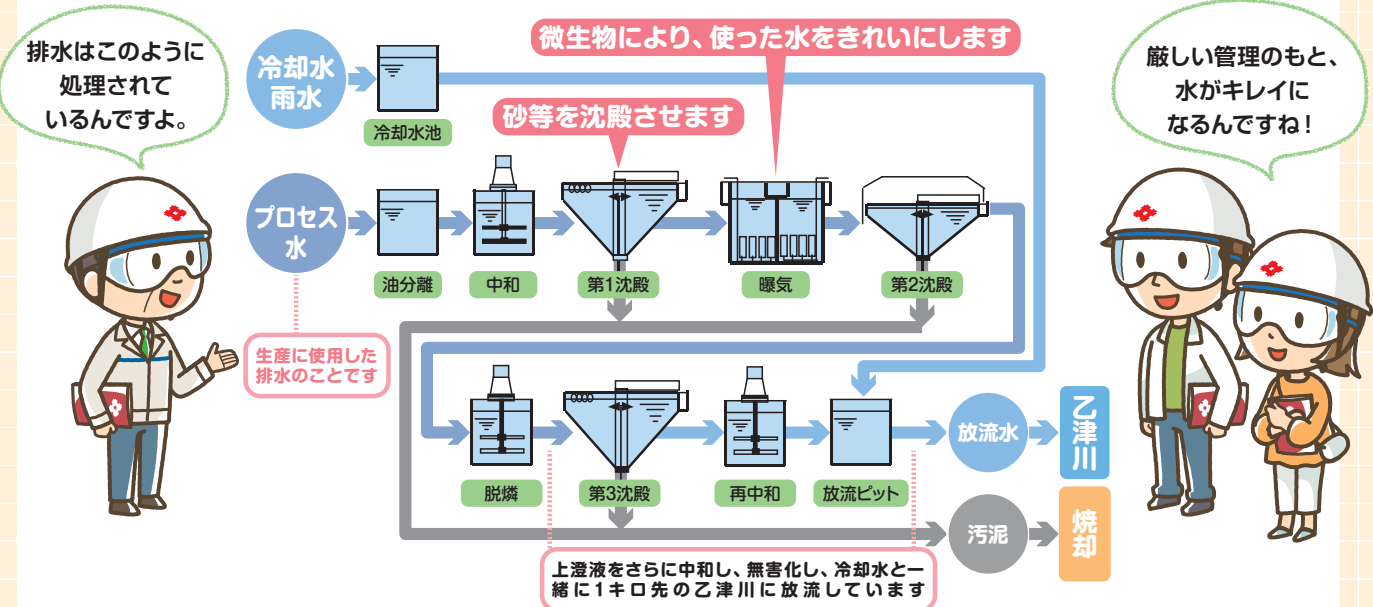
省資源・省エネルギー

- 王子マテリア(株)大分工場からの余剰蒸気の融通
- 古紙回収
- 昼休みの事務所消灯
- 工場内LED化推進 等

きれいな川を守るために、工場で使った水はきちんとした管理のもと処理をして放流しています。

水質汚濁防止

大分工場は、各製造工程から発生するすべての排水を、多様な排水処理設備を備えた自社の環境管理センターで処理したうえで、乙津川に放流しています。排水は、法律や条例で規定された基準よりも厳しい基準値で管理されています。



Point.1

フィッシュモニター

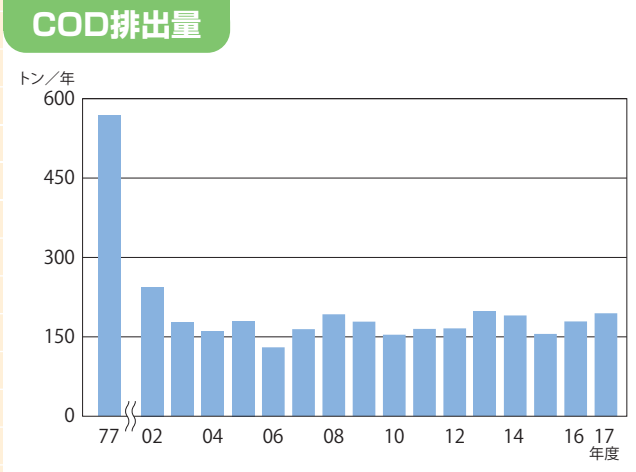
環境管理センターで処理した水は、乙津川に放流する前に魚が住める水になっているか常時監視しています。



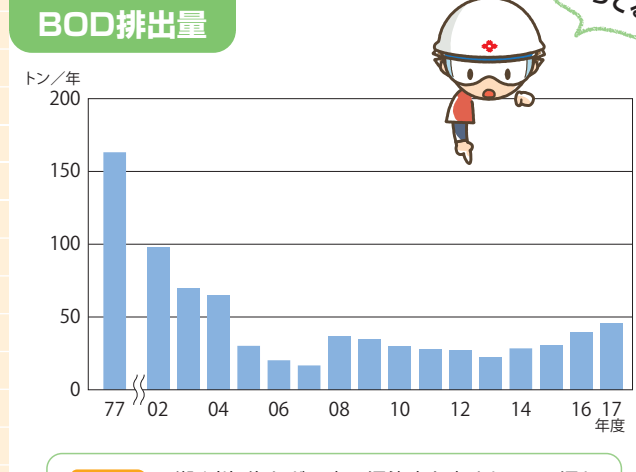
魚監視槽



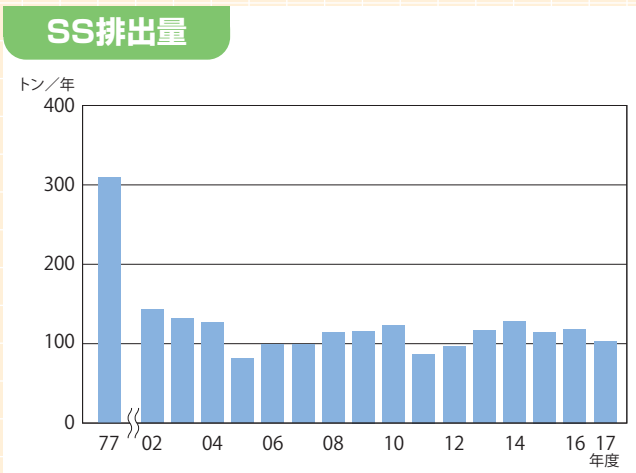
水質汚濁防止への取り組みデータ



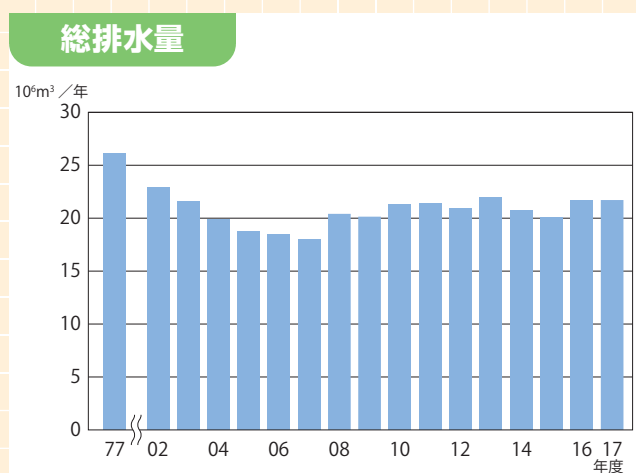
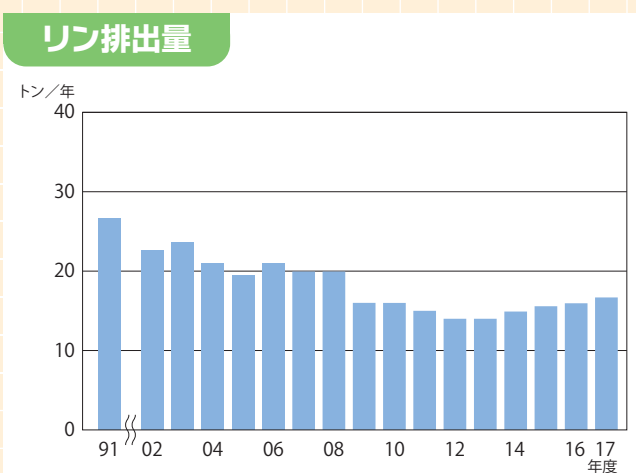
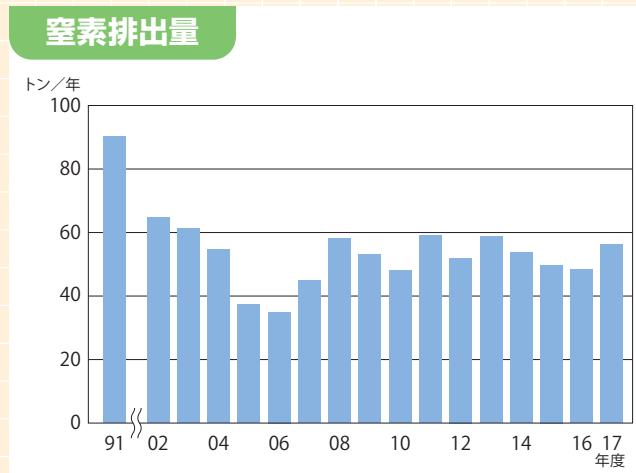
CODとは？ 湖や川、海などの水の汚染度を表すもので、汚れ(有機物)が化学的に分解(酸化)される時に使われる酸素の量を濃度で表した値をいいます。



BODとは？ 湖や川、海などの水の汚染度を表すもので、汚れ(有機物)が微生物によって分解(酸化)される時に必要とする酸素の量を濃度で表した値をいいます。この数値が高いほど水中の有機汚濁物質の量が多いことを示しています。



SSとは？ 水の汚れを示す指標で、濁りの原因となる水中に浮遊している不溶解物質の量を表しています。



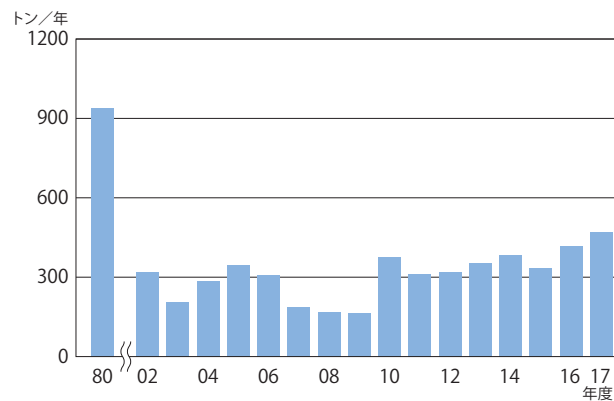
きれいな空を守るために、排ガスをきれいにするだけでなくその量も少なくしています。

大気汚染防止

大気汚染の主要な指標である硫黄酸化物(SOx)、窒素酸化物(NOx)、ばい塵の対策として、大分工場では、法律や公害防止協定による規制値の遵守はもちろんのこと、自主的な対策の推進により排出量の抑制・削減に取り組んでいます。自主対策として、良質な燃料を積極的に使用しています。

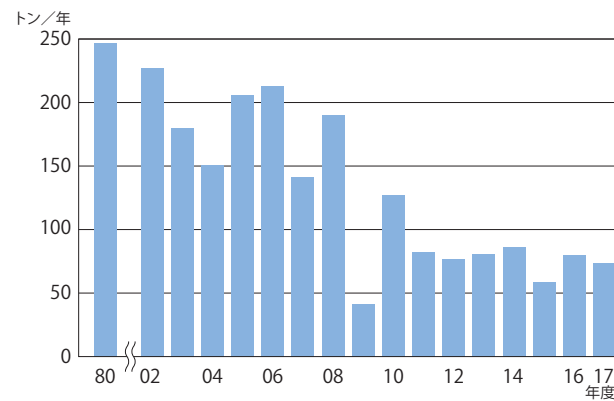
大気汚染防止の取り組みデータ

SOx排出量



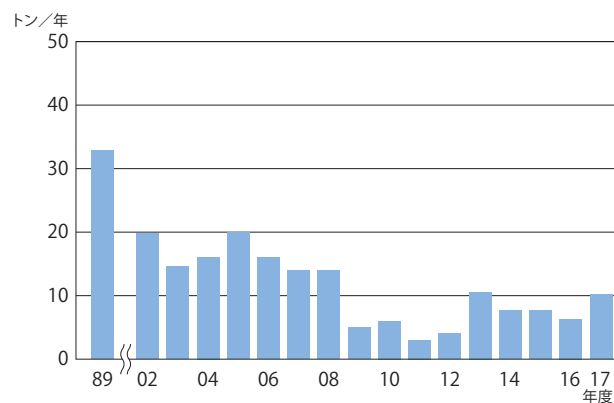
SOxとは? 燃料などに含まれている硫黄分が燃える過程で硫黄が酸化されて発生します。のどや肺を刺激し気管支炎など人の健康への影響があります。

NOx排出量



NOxとは? 物が燃えるときに空気中の窒素や燃料中の窒素が酸化されて発生します。人の呼吸器に影響を与えるだけでなく、光化学スモッグの原因の1つです。

ばい塵排出量



ばい塵とは? 大気中に浮遊する粒子状物質のうち、燃料の燃焼などに伴って発生するススなどを指します。



地域・周辺環境の空気をきれいに保つために、臭気の低減に取り組んでいます。

臭気対策

大分工場は、地域のみならずからの信頼を頂けるよう、工場内で発生する臭気の低減に取り組んでいます。2009年に不快臭気を処理する脱臭装置を設置し、期待した脱臭効果を得ることができましたが、よりいっそうの臭気の低減を図るために、2011年には活性汚泥設備「第一沈殿槽」の上部を特殊なシートで密閉し、また2013年には「第二沈殿槽」の改修も行いました。今後も引き続き地域のみならず安心安全な生活をしていただけるよう、いろいろな取り組みをしております。

第一沈殿槽シート改修



シート密閉前



シート密閉後



改修前



改修後

Point.2 煙突の白煙の正体は？

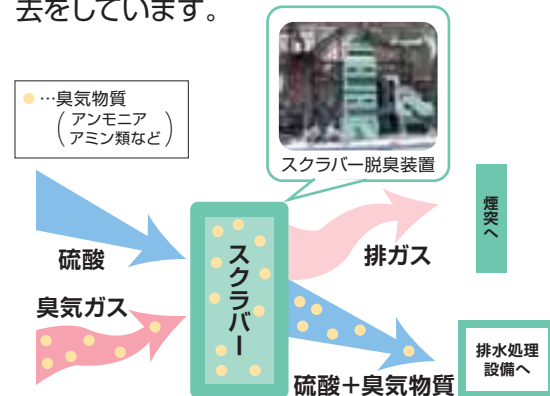
大分工場の煙突(低い方)から出ている白煙は、水蒸気によるものです。大分工場では、色々な化学工業製品を製造するときに発生する排水や廃棄物を工場内で減量化、再資源化、無害化するために焼却処理を実施しています。この焼却炉は、焼却排ガスの除害に水やアルカリを使用する湿式除害を採用しており、除害した後の排ガスは水分(水蒸気)を多量に含んでいるため、煙突から出る際に白く見えるのです。

煙突から出る排ガスについては、法律や公害防止協定で規定された項目(硫黄酸化物、窒素酸化物、ばい塵、塩化水素、ダイオキシン類)を定期的に分析し、どの項目も問題ないことを確認しています。また、排ガスに関するデータは、リアルタイムで大分市の発生源監視システムに送っており、市でも監視をいただいています。



スクラバー脱臭

大分工場では、アンモニアやアミン類を使用しているため、それらが臭気の原因となる可能性があります。そこで、発生源である槽の密閉化やスクラバー脱臭装置を設置し、臭気ガスを硫酸で処理して臭気の除去をしています。



緑化

大分工場では、緑化活動の一環として正門北側の塀に「テイカカズラ」を約250メートルにわたって植えています。新緑の季節にはかぐわしい白い花を咲かせています。



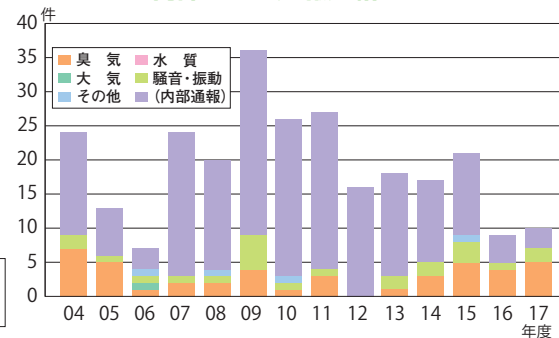
テイカカズラ

外部からのお問い合わせ

大分工場周辺の方からの環境に関するお問い合わせには、その都度速やかに調査し、対応しています。また従業員による内部通報体制を敷いており、環境異常（臭気・騒音・ばい塵）に対し、早期の対応に努めています。

※外部からのお問い合わせ件数は、発生原因が工場起因分と不明分とを加算しています。

外部からの環境に関するお問い合わせ、および内部からの通報連絡



Point.3 環境モニター制度

臭気など周辺地域の環境に及ぼす影響に関して、迅速な対応を図るため、自治会の推薦をいただいた方等に環境モニターをお願いし、お気づきのことがあればご連絡いただくようにしています。また、年2回、環境モニター会議を開催し、環境に関するさまざまなご意見を伺っています。



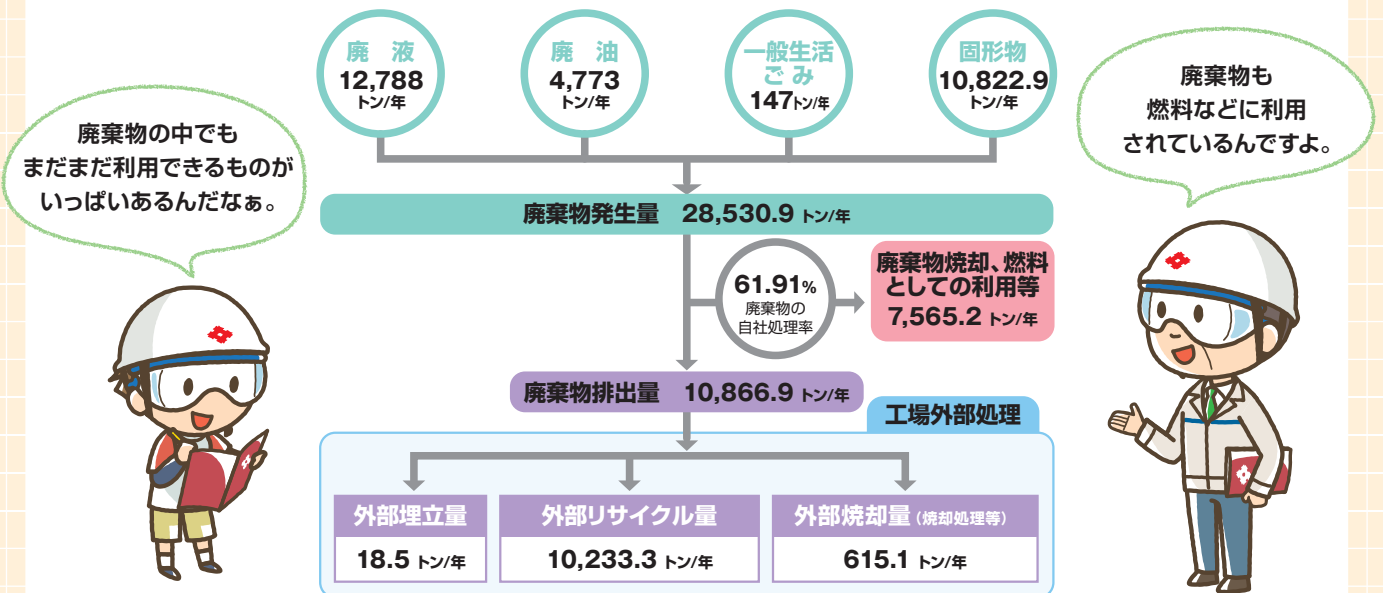
地域住民の人たちとのコミュニケーションが大切だね。



廃棄物を少なくし、新しい資源として再利用できるようにしています。

廃棄物処理の流れ

大分工場では、生産活動に伴い発生する廃棄物に関して、自社処理（中和、脱水、焼却処理等）による減量化、無害化、再資源化の推進を基本として処理しています。2017年度は、以下のとおりです。



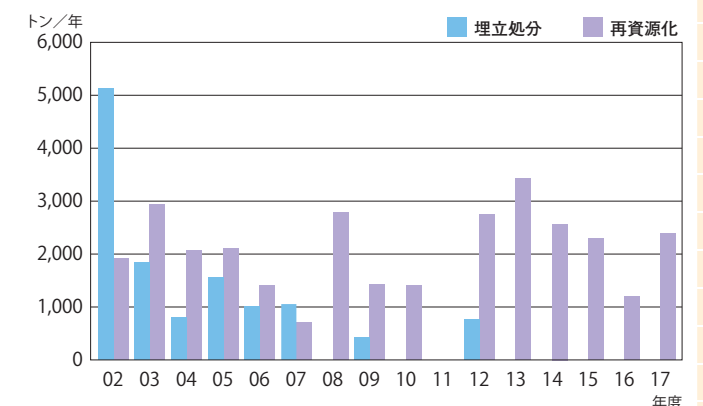
燃え殻の埋立処分量の削減と再資源化

排水処理工程で発生する汚泥に関しては、発生量の抑制に努めるとともに、焼却した後の燃え殻をセメント原料としてリサイクルすることにより埋立処分量の削減を推進しています。



再資源化が進むことで埋立処分量はどんどん少なくなってるんですね。

廃棄物削減への取り組み
燃え殻の埋立処分量と再資源化量



地球温暖化防止のため、製品開発の段階から製造まで、エネルギー使用量と二酸化炭素の排出量の削減に取り組んでいます。

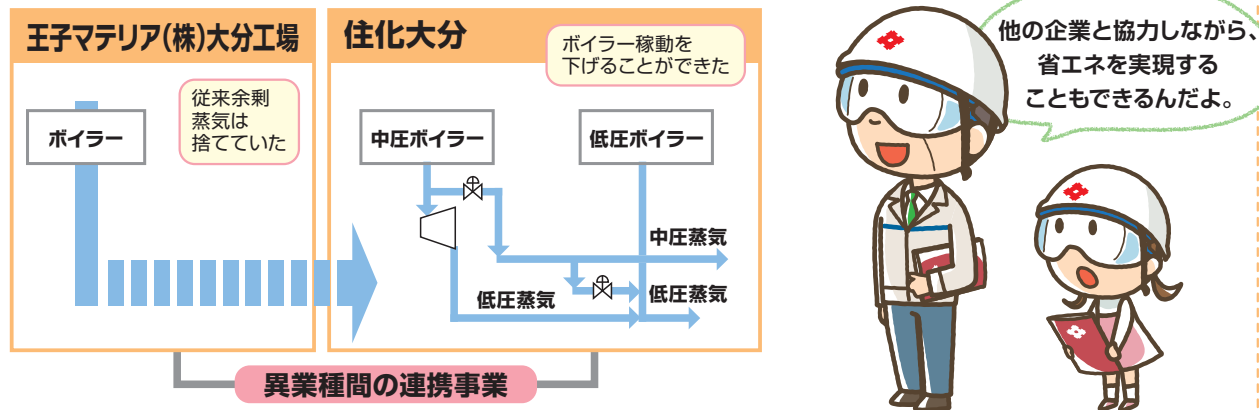
Point.4 省エネルギー活動

大分工場では工場内の全部門において、安全操作のみならず、省エネの取り組みを行っています。
 その中で、王子マテリア(株)大分工場と省エネを目的とした連携事業を2007年7月より開始しました。同社で発電に使用した後の蒸気を配管を通じて大分工場で再利用し、原油換算で年間最大2,350キロワットに相当する省エネを達成しました。



王子マテリア(株)大分工場から供給を受けている蒸気の配管

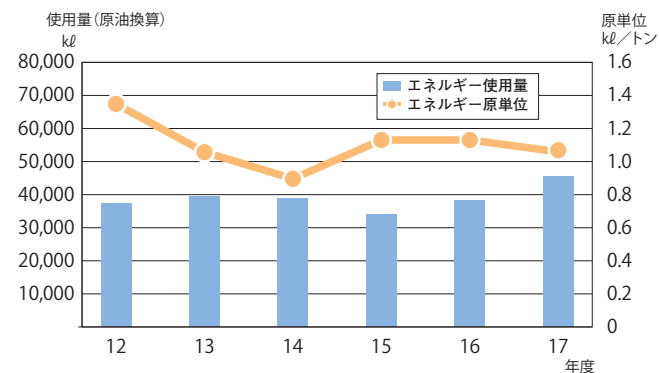
住化大分-王子マテリア 省エネ連携事業



エネルギー使用量とエネルギー原単位

大分工場では、合理化による個別製品ごとのエネルギー原単位の向上や、高効率電気設備の採用などを通じて、エネルギー使用量削減に努めています。

エネルギー使用量とエネルギー原単位



エネルギー原単位とは？
 製品1トンを作るのに必要なエネルギー(電気・熱)を原油の使用量に換算したものです。

二酸化炭素排出量

2015年に開催されたCOP21での「パリ協定」の合意により、国際社会は気候変動問題の対策への大きな一歩を踏み出しました。気温上昇を産業革命前から2℃未満に抑えるという「パリ協定」の目標達成に向け、当社は2017年度から省エネルギー法・地球温暖化対策推進法に規制されていない二酸化炭素の排出についても管理する取り組みを開始しました。
 大分工場では、王子マテリア(株)大分工場からのエネルギー融通や各プラントでの合理化などにより二酸化炭素排出量の抑制に努め、2017年度の総排出量は15万5千トン(省エネルギー法・地球温暖化対策推進法に規制されていない二酸化炭素も含む)でした。

工場で扱う化学物質の中で、有害な影響の恐れのあるものについては環境への排出量などを管理し、みなさまに公開しています。

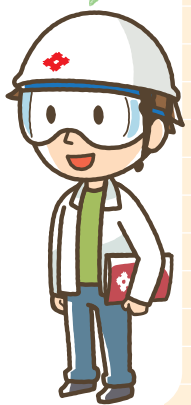
PRTR対象物質(特定化学物質)の管理

PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) とは、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に基づいて、人の健康や生態系に有害な恐れがある化学物質について、大気、水質、土壌などの環境への排出量と廃棄物として事業所の外へ移動する量を、事業者が把握し都道府県を經由して国へ届け出、国や都道府県はこの届け出や統計資料等を用いた推計に基づき、排出量・移動量を集計、公表する制度です。この法律では、462種類の化学物質が第一種指定化学物質に指定され、2003年度実績からは年間取扱量(生産量及び使用量)が1トン以上の物質は環境への排出量等を把握し、届け出ることになっています。大分工場では、2017年度は届出対象物質のうち25物質を取り扱っていましたが、このうち環境への総排出量は59トン、廃棄物として事業所外への移動量は263トンでした。大分工場はこれからも化学物質の管理には万全を期すとともに、環境への排出量削減に向け努力していきます。

PRTR該当物質排出量・移動量一覧表(2017年4月~2018年3月)

化学物質名	排出量				移動量(※)		
	大気	水域	土壌	排出量合計	下水道排出	廃棄物処理	移動量合計
(Z)-2'-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチル-2-ピリミジニルヒドラゾン(別名:フェリムゾン)	0	1,700	0	1,700	0	0	0
1,2,3-トリクロロプロパン	1	0	0	1	0	1,600	1,600
2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン(別名:HCFC-123)	160	0	0	160	0	0	0
2,4-ジ-ターシャリ-ブチルフェノール	11	0	0	11	0	0	0
2-プロピル-1-オール	31	0	0	31	0	20	20
5-アミノ-1-(2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル)-3-シアノ-4-((トリフルオロメチル)スルフィニル)ピラゾール(別名:フィプロニル)	0	0	0	0	0	29	29
N,N-ジメチルホルムアミド	15	11	0	26	0	25,000	25,000
O-エチル-O-(6-ニトロ-メタトリアル)セカンダリ-ブチルホスホリアミドチオアート(別名:ブタミホス)	0	0	0	0	0	0	0
アセトアルデヒド	110	0	0	110	0	0	0
アセトニトリル	0	0	0	0	0	0	0
アリルアルコール	57	0	0	57	0	0	0
イソブチルアルデヒド	450	0	0	450	0	0	0
キシレン	590	0	0	590	0	1,400	1,400
クメン	0	0	0	0	0	0	0
クレゾール	170	0	0	170	0	0	0
クロロベンゼン	1,900	2	0	1,902	0	5,300	5,300
クロロ酢酸	0	0	0	0	0	0	0
ジチオウリ酸O,O'-ジメチル-S-(N-メチルカルバモイル)メチル(別名:ジメトエート)	0	0	0	0	0	0	0
ダイオキシン類	0.7	0.5	0	1.2	0	1.4	1.4
チオウリ酸O,O'-ジメチル-O-(3-メチル-4-ニトロフェニル)(別名:フェニトロチオン又はMEP)	0	0	0	0	0	0	0
トリエチルアミン	230	0	0	230	0	0	0
トルエン	53,000	0	0	53,000	0	230,000	230,000
ベンゼン	35	0	0	35	0	0	0
メチルアミン	300	0	0	300	0	0	0
無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	0	0	0	0	0	0	0
合計	57,060	1,713	0	58,773	0	263,349	263,349

こうやって管理・公開することで、排出量を削減していけるんだね。



環境を守るための活動費用と効果を認識し、より効果的に活動を進めていくための仕組みを作っています。

環境会計

環境会計とは、環境保全活動を実施するための費用と、その活動から得られる効果を示したものです。継続的に、かつ効果的に環境保全活動を進めていく上で重要な指針となります。この環境会計の報告は、環境省が公表した「環境会計ガイドライン」を参考に作成しています。また、住友化学の環境会計は第三者機関（KPMG あずさサスティナビリティ株式会社）による審査を受けています。

■ 環境保全コスト(2017年度)

(単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	投資額	費用額(※)	
事業所 エリア内	環境対策コスト	大気汚染、水質汚濁防止	110	848
	地球環境保全コスト	温暖化防止	0	6
	資源循環コスト	廃棄物の処理、省資源・省エネルギー	208	959
小計		318	1,812	
上・下流コスト	製品、容器包装等のリサイクル	0	0	
管理活動コスト	社員環境教育、環境負荷の監視測定等	0	145	
研究・開発コスト	環境安全を配慮した製品の開発等	0	0	
社会活動コスト	自然保護・緑化・美化等の環境改善対策	0	65	
環境損傷コスト	汚染・自然破壊等の修復	0	0	
合計		318	2,022	

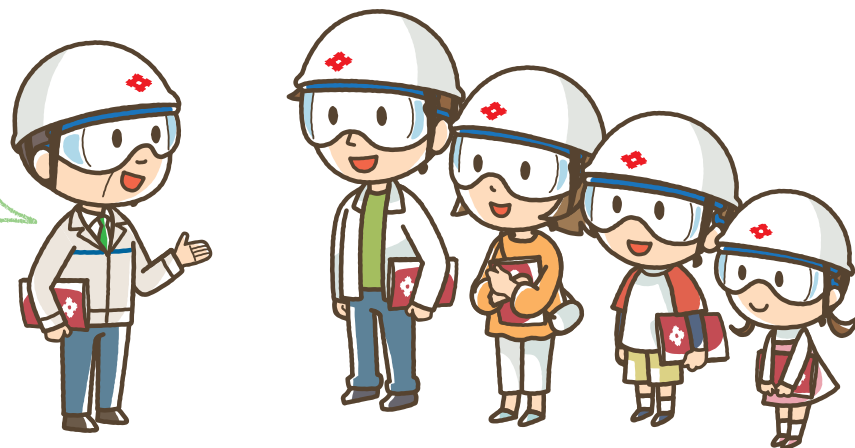
■ 経済効果(2017年度)

(単位:百万円)

項目	経済効果
リサイクル活動	98
省資源(合理化)	45
省エネルギー	165
合計	308

(※)費用額とは、運転費用です。

ここまでが、「環境保全」です。大分工場は環境を守るために、さまざまな取り組みを行っています。次は、「化学品の安全・品質保証」について見てみましょう。



製品の安全は、どうやって確かめているのですか？

化学品安全・品質保証

化学物質の安全性研究に取り組み、安心して使っていただける製品をお届けしています。

化学品安全活動

大分工場では、化学品の開発から出荷・使用・廃棄にいたるまで化学物質の適正管理に努めています。住友化学では長年にわたり蓄積してきた化学物質の安全性評価に関する豊富な知見のデータベースをシステム(SuCCCESS)から活用でき、このデータと最新技術を駆使して、安全性の確保や環境の保全に努めています。

またお客様からのお問い合わせや、法規制対象物質の含有確認などに有効活用しています。

愛媛にある生産安全基盤センターには、災害防止を専門に研究する「安全工学グループ」があります。国内有数の研究設備を備えた専門家集団で、取り扱い物質の危険性の測定や「プロセス安全検討会」などにも参加して、大分工場の無事故・無災害に大きく役立っています。また、大阪にある生物環境科学研究所では、化学物質の安全性の研究を行っています。大分工場の製品もこうした努力に支えられて、社会の信頼を得ています。



Point.5 品質保証

大分工場品質方針 安心して使っていただける製品をお客様のご要望通りお届けする。

ISO9001の認証

大分工場は、国際品質保証規格であるISO9000シリーズの認証を1995年12月に取得しました。その後の規格改訂にも適切に対応しながら「大分工場品質方針」のもと、品質の維持向上に努めています。

GMP

大分工場では、GMP*に適合した方法、設備で動物用医薬品や医薬品中間体を生産しています。また、国内基準への適合のみならず、輸出品については海外のGMPにも適合し、海外当局の査察にも合格しています。

*GMP…Good Manufacturing Practice (医薬品の製造管理および品質管理規則)



製品の品質管理は万全に行っています。



工場の安全は、 どうやってつくっているの？

周辺地域や工場、従業員の安全を第一に考え、
安心して働ける、職場環境づくりを目指しています。

「安全を誓うつどい」を毎年開催

スミチオン倉庫火災(1973年(昭和48年))から40年の節目となる2013年8月12日に、①安全・安定操業の原点に立ち返り安全意識の一層の向上を図る、②環境が変化しても地域との共存を継続して工場運営を行っていく、という決意を新たにすため「安全を誓うつどい」を開催し、近隣自治会長様、当時の状況を知る関係者にご講演いただく等、改めて「安全を全てに優先させる」という思いを徹底しました。

それから毎年「安全を誓うつどい」を開催しています。

「安全を誓うつどい」では過去の教訓を生かし、事故や災害に対する感受性を高め、安全文化を深化させる決意を新たにす場として今後も継続していく予定です。

2018年度は8月8日に開催し、大分工場で働く全ての人々が心一つに安全・安定操業の継続と地域とともに発展していく大分工場を築いていく決意をいたしました。



工場長挨拶

指差し唱和

毎年、従業員全員が安全に対する決意表明をしているんですね



各職場代表による安全宣言

安全文化を深める

「安全を全てに優先させる」という基本理念の基に、「労働災害ゼロを達成」を目指し安全文化を深める活動を行っています。

昨年から実施している「大分工場共通取り組み」の継続で一体感の醸成、3S意識向上を図り、工場働く人が一丸となった活動を行っています。

また各層の危険感受性向上の取り組みにより、更に安全文化を深化させています。



共通取り組みでの一斉清掃活動



協力会社と合同での非常時対応訓練

心と身体の健康と、快適な職場づくり

フレッシュアップ活動と称し、毎年ミニバレー、グラウンドゴルフ、ソフトボール大会、健康講演会などを開催しています。一人ひとりが心身ともに健康で快適なワークライフを送るとともに、活気溢れる工場、職場づくりの一助となるよう、取り組みを進めています。



このような活動を続けることがみんなが健康で安心して働ける職場づくりにつながっていくんだね。





大きな地震が 起こっても大丈夫？

従業員の教育・訓練

教育・訓練に関しては、個々人のレベルアップを通じ、工場内の安全の確保に貢献することを目指しています。また、危険を模擬体験できる安全体感教育や各種安全ビデオ等による教育を実施し、近隣企業と合同開催の安全実技体験研修にも参加しています。



労働災害件数推移

住友化学は、「安全をすべてに優先させる」という基本理念のもとに様々な取り組みを行っています。従業員が災害にあわないことは、本人だけでなくご家族の幸せでもあることを念頭に、構内のグループ会社や協力会社のみなさんと一体となった活動を行っています。

※休業災害とは、ケガのため、休業を余儀なくされる災害をいいます。
※不休業災害とは、ケガはしたものの休業に至らない災害をいいます。

住友化学		年度	協力会社	
休業災害件数	不休業災害件数		休業災害件数	不休業災害件数
1	1	2001	1	0
1	0	2002	0	0
1	0	2003	0	1
0	0	2004	2	0
0	0	2005	0	0
0	0	2006	0	0
0	0	2007	1	0
0	1	2008	0	0
0	0	2009	3	0
0	0	2010	0	0
0	0	2011	1	0
0	0	2012	0	0
2	3	2013	0	0
0	0	2014	0	0
0	0	2015	0	1
0	3	2016	0	0
0	0	2017	0	1

Point.6 OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の運用

OSHMSとは、中央労働災害防止協会の提唱する、PDCA(計画-実施-評価-改善)サイクルを回し、自主的かつ継続的に労働安全衛生管理を行う仕組みです。大分工場でも労働災害の潜在的な危険性を低減するとともに、構内で働く人の健康増進や快適な職場環境づくり、あるいは安全衛生水準の向上に役立つ取り組みとして、2003年4月より運用を開始し、登録認証を取得し、定期審査を受けながら継続運用しています。



労働安全衛生管理に
しっかり取り組んでいる
証なんです。



工場では、事故や災害が起こらないよう努力し、
また万一のために、さまざまな訓練を行っています。

消防訓練

大分工場では、万一の事故に備えて訓練も定期的に行っています。消防署や近隣企業との合同訓練や防災技術の協議会などにも参加して、常に技術の向上に努めています。

定期的に訓練することで、
従業員のみなさんの
高い意識が保たれて
いるんですね。



職場訓練



コンビナート訓練

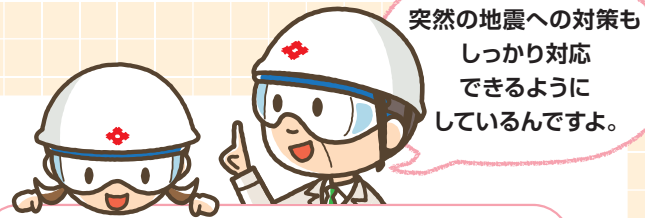


地震への備え

1 工場設備の耐震補強



阪神淡路大震災後、建築物、構築物等の耐震診断をしています。必要な耐震補強工事を行い、危険性の低減を進めてまいりましたが、その後は高経年化による設備診断を現在進めています。また東日本大震災後、津波による影響検討を行い、優先順位の高い案件から対策を進めています。



突然の地震への対策もしっかり対応できるようにしているんですよ。

2 危険物タンクの地震対策



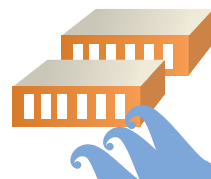
2003年に起きた十勝沖地震で火災を起こした浮き屋根式タンクは大分工場にはありません。古い耐震基準で作られたタンクは、検査・改修を当初計画より早めて実施し、安全を確認できたタンクを使用しています。また、大型タンクについて遠隔操作で元弁を閉止できるよう改修を開始しました。

3 緊急地震速報

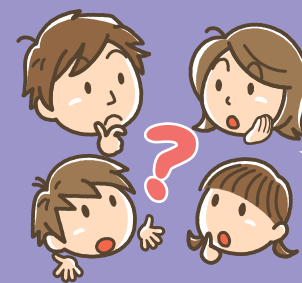
緊急地震速報の受信装置を設置し、大規模地震発生時の初動対応の一助としています。また、定期的な訓練にも用いています。



4 津波対応訓練



南海トラフ地震による津波災害を想定し、プラントを早く安全に停止するために緊急停止方法を見直し、該当方法に基づく緊急訓練を繰り返し実施しています。



周辺地域の 人たちと、 どんな交流をしているの？

日頃から地域のみなさまとさまざまな交流を通じて、地域社会への貢献や環境美化などに努め、地域とのつながりを大切にしています。

「本場鶴崎踊大会」への参加

国選択無形民俗文化財である「鶴崎踊大会」には、工場幹部を含めた社員が毎年参加しています。今年は「大分朝日放送賞」を受賞しました。過去には「大分市



観光協会会長賞」といった企業の部での最優秀賞もいただいています。



伝統行事に参加し、次の世代へ伝えていくことも大切です。



出前授業の開催

地域の小中学生に化学の楽しさを体験してもらうため、当社およびグループ会社社員とOBを学校へ派遣して、毎年、出前授業を行っています。昨年度は、鶴崎中学校、鶴崎小学校、三佐小学校、川添小学校、大在西小学校で授業を行いました。工場では引き続き出前授業を通じて、地域の子どもの理科教育振興に貢献していきます。



理科の授業楽しそう！僕も一緒に受けてみたいな。



Point.7 防災活動車の導入

2013年10月に消防活動車（指揮車）を導入しました。指揮車には、万が一の災害時に迅速な対応ができるよう、現場指揮等の防災活動に必要な資機材を搭載し、年に2ヶ月、夜間・休日における初動訓練を実施しています。



すごーい！いざという時はこの車が活躍してくれるんだね！

「鶴崎カップジュニアサッカー大会」の後援

鶴崎地区サッカー連盟主催、住友化学・大日本住友製薬後援の「鶴崎カップジュニアサッカー大会」を毎年開催しています。毎年、9チームが本大会へ参加し、チーム一丸となって優勝目指して頑張ります。未来のJリーガーが、この大会参加者からも輩出されることを期待しています。



大分国際車いすマラソン大会沿道の清掃

当工場では、毎年大会当日に、社員や社員の家族、OBの方々が多数参加して、コースの一部となる工場周辺道路の清掃を行っています。

また、例年8月に実施されている「市民いっせいでみ拾い」と併せて、工場周辺の清掃活動も行っています。



RC地域対話やミニ集会の開催

大分地区JRCC(日本レスポンスブル・ケア協議)会員企業主催の「大分地区レスポンスブル・ケア地域対話」とミニ集会を毎年交互に開催しており、2017年度は11回目となる大分地区レスポンスブル・ケア地域対話を開催しました。

多くの地域住民の方々にご参加いただき、皆様のご意見を伺う貴重な機会となりました。

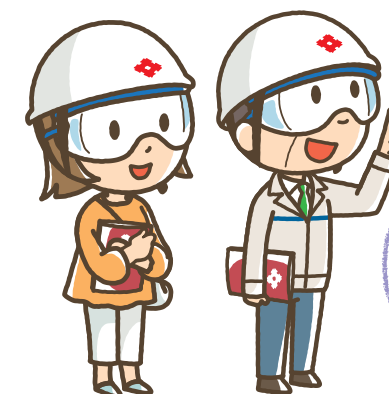


意見交換の場を設けることで、住民の人たちとの理解が深まるんですね。



Point.8 地域向け広報紙「つるさき」の発行

大分工場を地域のみなさんにもっと知っていただくために、広報紙6100部を年2回発行し、鶴崎、三佐校区の世帯、学校等に配布しています。



大分工場の取り組みや活動内容を、分かりやすくまとめています。



あっ、うちにも届いているのを見たよ！

